

【事業者名称】グループホーム 花ごよみ

2008年 9月 16 日評価実施

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input checked="" type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	[あなたらしく]を大切に個別にケアを行っている。ふれあいのクラブや地域の行事参加		唄ごえクラブには、地域の方が指導にきて下さり楽しみにしている。
2	2	<input checked="" type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	出来ない部分のみを援助し、満足な生活を送っていただく。		[三つのかける]を基本にし、月1回の会議で確認行う。(・話し掛ける・肩に手をかける・気にかける)
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ほとんどが地元の方の為、地域の昔のことを良く知っておられ仲間意識がある。		
理念と共有 3項目中 0 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地元の職員がおり、隣近所の方をお呼びしてのしんでもらっている。また運営推進委員さんを通じて広がりがつつある。		季節の行事などの交流はあるがもっと気軽な近所付き合いとなるようにしていきたい。
5	3	<input checked="" type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事には必ず参加させていただき、またふれあいの納涼祭には招待するなどの交流を行っている。	○	季節の行事などの交流はあるがもっと気軽な近所付き合いとなるようにしていきたい。
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域で暮らす高齢者に対して、何か役立つことは、現在はできていません。		季節の行事などの交流はあるがもっと気軽な近所付き合いとなるようにしていきたい。
地域とのつきあい 3項目中 1 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を行うことにより、自らを振り返る機会となる。		これからも職員全員で取り組んでいきたい
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	認知症をよく理解していただき、地域とのより深い交流のきっかけとなる		契約時には理解しやすい言葉をえらぶようにとのアドバイス受け実施していきたい
9	6	<input checked="" type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	認定調査時には相談し、アドバイスを受けている。また居室が空いたときなどの連絡行うなどしている		頂いたご意見を参考に、改善に取り組んでいきたい。
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者を通じて職員に理解してもらえるように努力している。		研修の場としての利用については、入居者の性格をよく考慮した上で行っていきたい
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	週一回の役職会議にはいつも法人全体の問題として話し合い、課内に持ち帰って確認している。		これからも職員全員で取り組んでいきたい
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 0 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input checked="" type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	申し合わせ事項を用意し、理解していただきやすく説明している		専門用語はあまり使用せず理解していただけるようにしていく
13		<input checked="" type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	契約時にはしっかり説明を行い、普段も気軽に伝えていただけるように心掛けている。		同上
14	7	<input checked="" type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	手作りアルバムを用意し、安心していただけるように説明行っている。また、面会時には個別に報告している	○	花ごよみだよりの発行回数を増やし、日頃の様子を伝えていきたい

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input checked="" type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族と職員は信頼関係が築けていると思います。表現しやすいのではないかと思います。		家族会にはもっと打ち解けた話し合いの場となるようにしていきたい
16		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月行う家内会議で意見を出せるようにしている		職員の補充が少なく日頃の勤務には苦勞をかけているが報われるように努力してほしい
17		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	特別行事等は全員参加出来る様にシフトを組んでいる		同上
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員のケアが大切なので、職員が働きやすい環境をつくり、離職を少なくするように努めている		職員同志の信頼関係ができていことが、入居者への良いケアに繋がっている
理念を实践するための体制 7項目中 1 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input checked="" type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内の研修は全員受けられるようにしている。法人外の研修については主に役職者が参加し、反省や確認を全員で行っている		グループホーム部会ではお互いのホームを見学実習行えるようになっているので勤務内で全員が実習出来る様にしていきたい
20	11	<input checked="" type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	東近江ブロックのグループホーム部会に出席し、良い勉強会の場としている		同上
21		<input checked="" type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員同士信じあうことが一番のストレス軽減であり、お互いに協力している		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	お互いを認め合い信じあう事が大切で管理者自らがスタッフを誉め声かけを行っている	○	同上
人材の育成と支援 4項目中 1 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
Ⅱ-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input checked="" type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談の時点で時間を掛けて話を伺い納得されるように説明している。気軽に相談できる体制をとるようにこころがけている		三つのかける〔話し掛ける・肩に手をかける・気にかける〕
24		<input checked="" type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談の時点で時間を掛けて話を伺い納得されるように説明している。気軽に相談できる体制をとるようにこころがけている		
25		<input checked="" type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談の時点で時間を掛けて話を伺い納得されるように説明している。気軽に相談できる体制をとるように心掛け望まれている事を理解する		ここに入居するのだという事を納得していただく
26	12	<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に来苑願ひ、皆さんと一緒におやつ等を食べていただくなどして、お互いになじみ易くなるようにすごしていただく		入居前の生活を見せて頂く。(在宅や施設利用状況)また、生活状況を家人より聞き取る。
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 0 項目					
Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input checked="" type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	物を大切にするという気持ちを教わり、いっしょに作り上げていく		入居者と職員が共に行う事を大切にす
28		<input checked="" type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家人には安心して頂く事を第一とし、日頃の生活の様子をお知らせしている。又話し合いの場は充分用意している		手作りアルバムを用意して、ホームでの日常を写真でお知らせし安心の材料とする。ホームだよりの発行を重ねて行きたい。
29		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	良い場面での接触を重ねていただき信頼関係を強めていきたい		進行していける事を言葉を選んで、しっかりと説明していく

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input checked="" type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	支えていただいてこられた近隣の方の訪 問は大いに歓迎している		家人了解の下、本人は認知症である ということを説明する
31		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	さりげない席決めを行い、互いに支えあ うように配慮する		席替えを時々行い会話が弾むように配 慮する。家事も座ったままで楽しく会 話しながら出来る配慮が必要。
32		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	特養へ入所される等の場合は、皆さんと 会いにいき、馴染みを続行している。		他事業所へ入所されたときは、仲良 しの方が手紙を書きたいと希望され ているので援助していきたい
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 0 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input checked="" type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お一人ずつの思いを大切にまた、体調不良時等は個別対応行い安心されるように努力している		家族を通じて又、本人自身から望まれる事を理解したい
34		<input checked="" type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に面談行いできる限り情報を把握できるように家人に協力をしていただいている		入居後はこちらから情報を提供していく
35		<input checked="" type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ずつの健康状態や残存能力は職員全員が理解できている		残存機能を生かした統一した支援を行っていきたい
一人ひとりの把握 3項目中 0 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家人の意見は大切であり面会のたびに話し合い、お互いにケアの協力者とする		日々の変化にも職員一同、統一して対応していく
37	16	<input checked="" type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	小さな変化にも日々対応して、職員全員に申し送っている。その場合家人には後日報告となることもある。	○	同上
38		<input checked="" type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録にて、個別に記録している		同上
介護計画の作成と見直し 3項目中 1 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input checked="" type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	職員に看護師はいないが併設の看護師がすぐ対応してくれる為入居者職員共に安心感が強い。また夜間は警備員も協力者となる。		役職会議を利用し、多方面でのアドバイスが受けられる
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input checked="" type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	徘徊時は警察や地域の皆さんに協力お願いしている	○	ボランティアのかたに来ていただき、お話し相手などお願いしたい。又子供や動物にかかわる事が少ないので増やしていきたい
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をして	併設のデイや特養へはたびたび出かけて一緒に過ごしている。又併設施設合同のクラブ活動に参加している		
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している		○	必要に応じ連携取り合っていきたい
43	18	<input checked="" type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に主治医の意向を尋ね、希望されるとおりにしている。現在は2名の医師の往診をお願いし、お一人は今までとおりの医師の受診をされている		係りつけ医に関しては安心しているが認知症の医師ともっと関わっていきたい
44		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	守山の医師で距離的に少し遠いのが難であるがよく理解して頂いている。最近では市内の病院を利用するようになった		同上
45		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設施設の看護師に相談に乗っていただき皆さんの状態をよく把握してもらっている		
46		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は家人了解の下情報を提供し、退院時にはこちらから病院に出向き情報を頂いている		
47	19	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化になられた場合については家人と話し合っているケースもある。終末期の生活についても個別の相談を受けている		どなたも終末期はホームというのではなくそれまでの過程でホームに満足されているかを考慮していきたい

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input checked="" type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	今までの退去者はだいたい特養入居を望まれた		本人及び家族とじっくり方向を話し合うべきである
49		<input checked="" type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	情報はしっかりと提供し、住み替えが行われても戸惑われる事を少しでも軽減していきたい		
地域資源との協働 10項目中 2 項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input checked="" type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	ケアの声かけは小さく、誉め言葉やお願い事は大きい声かけするよう心掛けている。又個人情報の取り扱いについては注意している		人生の先輩であるということを機会あるごとに職員で話し合っている
51		<input checked="" type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	選んでいただく、お願いするという事を基本にし自己決定できるように支援している		これからもずっと自己決定の支援を周知徹底していきたい
52	21	<input checked="" type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本の生活ペースはだいたい決まっているが、その中で自分なりのペースで生活していただいている		自分らしく暮らしていただきたい
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 0 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input checked="" type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	家人の意見は大切に参考になっている。理美容についてはいろんな方法を利用される		身体的に負担のないように楽しんでもらいたい
54	22	<input checked="" type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	少しでも食材に触れていただき自分の意志で生活しているという気持ちをもっていただけるように支援している		出来る事はこれからも皆さんでしてもらうようにしていきたい
55		<input checked="" type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お茶の時間には好みを選んでいただくときもある。お誕生日会には、本人の好みのメニューを心掛けている		体調に気を付け健康的な物を楽しんでもらいたい
56		<input checked="" type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	トイレでの排泄を基本とし、見守り・介助等その方にあった支援行っている		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	現在の入浴回数は入居者からの提案で決まった。順番についてはおおむね決まっているがタイミングの都合で変化する		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	お茶を用意する・寝具の清潔等少しでも家庭と同じように快適に過ごしていただけるように支援している		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 0項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input checked="" type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家事をさり気無く分担して満足していただいている。また家人にお願いして若い頃の写真を持ってきていただき友達同士で見せ合って楽しんでおられる		たとえ状態が重度化されていっても手助けがあれば自分らしく生活出来る様に支援していきたい
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	盗られ妄想の方はお金を持っておられない。現在ではほとんどの方がお金は持っておられない		買い物時には支払いを出来る方には行ってもらっているが、出来にくい方にも援助の方法を考えていく
61	25	<input checked="" type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	玄関は鍵を掛けずにいつでも出ることができる。草引きや野菜の収穫など楽しんでおられる		
62		<input checked="" type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節を味わう目的の外出はできるだけ機会を多く持つ様にしている		車両の都合で外出には制約されるが、もっと気軽に時間を気にせずでかけたい
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はかかってきたら受けられるように支援している。孫からのハガキはとても喜ばれる		返事を書きたいと願われたらどんどん支援していきたい
64		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会は楽しんで来ていただけるように、職員全員が努力している		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 0項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はないことをいつも課内会議で確認しているまた、役職会議では勉強会が行われる		これからも絶対に身体拘束がないように会議で確認し続けていきたい

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input checked="" type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵は日中は掛けずにチャイムを利用して、出て行かれたら職員も一緒に出かけ納得してから戻る		畑や裏庭なども出られるようにしていく予定
67		<input checked="" type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	見守りをしっかり行う様声掛け合っており、死角に入られたことを確認する		昼夜逆転にならないように工夫していく
68		<input checked="" type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁・はさみ・針等はいつも身近にあり使用されているが見守りを行って事故防止につとめている		見守りの下で色々な事に挑戦していつてもらいたい
69		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ずつの危険なことはなにかを把握し、連携のケア行う		同上
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急救命の講習は全員が受講済みである		看護師指導の下、もっと訓練がおこなえればよい
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害訓練を6月に、入居者といっしょに行った		今後もいろんな災害に備えた訓練に参加していきたい
72		<input checked="" type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個別対応を行っているがマンツーマンケアではないためリスクはあり得ることを家人に説明している		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 0 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input checked="" type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルチェックを行い少しの異変も看護師対応行う		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input checked="" type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は職員が行っている。説明書はいつでも目が通せるようにして職員全員が理解している		
75		<input checked="" type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	水分や寒天を多く摂取出来る様に工夫している。体操など気軽な運動は毎日行っている		水分摂取についてはこれからも気をつけていきたい
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	声かけ支援を中心に行っている		今後介助が必要となってくるが清潔保持には気をつけていきたい
77	28	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人づつ盛り付けの量に変化をつけて、完食できる満足を味わっていただく		
78		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアル作成。手洗い・手指消毒を徹底している。また排泄介助は手袋を使用して感染予防に注意している。		
79		<input checked="" type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器は毎食後消毒しまな板や布巾等は一日1回消毒している		冷蔵庫を過信しないように心掛けていく
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 0 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input checked="" type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関には入居者の写真を置き、普通のご家庭のようにしている		
81	29	<input checked="" type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	屋内から畑が見え、作物で季節を感じていただける。夏は朝顔の花が満開でした。入浴はマンツーマンケア行い安心していただける		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input checked="" type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	所々に椅子を置いたり和室の下段に座り寛げるように工夫をしている		
83	30	<input checked="" type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ゆっくり寛げるように個別に入居者に合った工夫を行っている。また消臭効果として居室やトイレに炭を置いている		思い入れの品を持ち込んでいただく。 (家族の写真・旅行の写真・手芸作品等)
84		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	一人ずつに合わせた温度調節を行っている。炭を置く事により自然の中で消臭できている		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 0 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input checked="" type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで必要なドアは引き戸で開けやすい		
86		<input checked="" type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一度入居されたら申し出がない限り居室の変更は行わない。ドアの明かり取り窓の形を変えて目印となるようにしている		
87		<input checked="" type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外回りの草引きが気軽に出来る。また日頃の生活の写真や行事の写真を壁に貼り出し、思い出していただく		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 0項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度 ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

朝食及び昼食はいし食サービスを受け、夕食のみを入居者と共にホームで作っています。食材にはなるべく皆さんに触れていただくように心掛け、家族のために調理していた頃を思い出していただきたいと思います。洗濯干しはさり気無く種類を分類し、毎日同じ物を干していただくように配慮しています。月ごとに箸袋を作り自分の名前を記入していただき、字を書くということ思い出していただいています。家での生活を大きく変えることなく同じサイクルで生活を送っていたできるように援助しています。しかし、年中行事である・お花見・納涼祭・ぶどう狩り籐は楽しみの行事として覚えていただいているようです。季節がくれば催促して職員の背中をおしていただいています。

評価結果整理表

個別表		□のチェック項目数
I 理念に基づく運営		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	3 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	2 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	4 項目/5項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	7 項目/7項目
－5.	<input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	4 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4 項目/4項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		
－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	3 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	1 項目/1項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	8 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		
IV－1. その人らしい暮らしの支援		
－1. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	3 項目/3項目
－1. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (3)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	6 項目/6項目
－1. (4)	<input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	8 項目/8項目
－1. (5)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	7 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		
－2. (1)	<input checked="" type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	5 項目/5項目
－2. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	3 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営 (5項目/5項目)について

[あなたらしく]をモットーに、ますます地域に根付いた運営に取り組んでいきたいと思えます。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 (2項目/2項目)について

認知症の方が、何を望んでおられるかを職員一同が理解しようと努力することによって、入居者や家族とも信頼関係をより深く築いていけるのではと思えます。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント (4項目/4項目)について

入居者や家人とは信頼関係を築き、話しやすい場面を作る事により自分らしく生活していただけるヒントを得られます。それらをケアプランに活かしていきたいものです。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 (0項目/7項目)について

一人ずつに合ったケアを行い、自分らしく生活しているのだという満足感を味わっていただけるような支援をしていきたいと考えています。

V サービスの成果に関する項目について

年々年を重ねていかれるに連れ、現状を維持していただくのはご本人の努力が第一です。今後も出来る事に対して共に喜び励まして満足していただけるように支援していきます。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホーム花ごよみ

評価年月日: 20年9月16日

前回評価年月日: 19年9月25日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期評価実施時期
評価項目番号	優先順位	内容				
5	3	地域との関わりについて	平成20年10月～平成21年9月	併設グループホームのため訪問し難いとの声もありもっと気軽な付き合いをすすめていきたい。		平成21年9月
14	1	グループホームだよりの発行	平成20年10月～平成21年9月	定期的に発行し日頃の様子を家族にお知らせして安心していただく (1/3ヶ月)		平成21年9月
37	2	介護計画及びモニタリングをしっかりとっていく	平成20年10月～平成21年9月	なかなか定期的にプランを立てられてないが今後はプランの見直しを定期的に行っていきたい(1/3ヶ月)		平成21年9月
42	4	包括センターと連絡を取り合っていく	平成20年10月～平成21年9月	気軽に包括センターと連絡行いアドバイスをお願いしていく		平成21年9月
40	5	動物と触れ合う	平成20年10月～平成21年9月	動物に触れ合う機会がないため寂しいように思うので動物のいる場所へ出かけた		平成21年9月
22	6	ゆとりある勤務体制	平成20年10月～平成21年9月	職員を増やし気持ちにゆとりをもってケアできるようにしていきたい		平成21年9月

—